

日 時 平成26年10月4日（土）19:00～19:40

場 所 志津南市民センター多目的室

出席者 （会長）中原 （副会長）松谷、梅田、小野

（町内会長）笠本、杉本、芥川、宮迫、川崎、原田、吉田、中島、松田、中村

（グループ代表）菊地、増尾、藤本 （事務局）欠席

（市民センター）木村、鶴田

〈敬称略〉

1. 報告・連絡事項

(1) 会長から

①CATV運営協議会の答申書について

理事会より検討を依頼していた「飛鳥グリーンヒルCATV告知放送の在り方」に関して、9月30日にCATV運営協議会から答申書が提出された。これは、昨年度3月の理事会で、CATVの運営に関してCATV運営協議会を設けて検討するとなっていたもので、主な内容は次のとおり。

i) 告知放送の運用に関して

「グリーンヒル CATV 告知放送運用規則」「同運用細則」を制定し、告知放送の運用に関わる組織として、若草・青山・松が丘の3地区の代表者複数名による常設の「告知放送運営協議会」を設ける。なお、(株)ZTV滋賀放送局には、オブザーバーとして協議会に参加していただく。

ii) 告知放送の協力金

協力金の積立額は現在約80万円であり、若草・青山・松が丘の3地区で年度末に等分し、地域の町づくりに活用する。それ以降も、毎年度末に3等分する。

活用の例として、安全安心なまちづくりを目的とし、将来にわたって継続して生きる事業ということで、防犯カメラの設置などがあげられている。

この規則の制定の主体は、グリーンヒル地区の21の町内会・自治会であり、規則の改廃について第5条で規定しており、過半数の町内会・自治会の同意の下に制定することとなる。若草地区の町内会においては、10月の町内会役員会でこの規則案について議論し、審議していただきたい。

②地域ふるさとづくり交付金の追加支出について

前回の支出状況報告の際、追加支出についても了承を得たが、まず、テントについては、幌だけがあるので骨組みを追加購入するということがあったので、9月28日に確認し、追加注文している。次に若草六丁目倉庫にテントを収める棚を作った。出し入れしやすいように滑車つきである。消火栓ホースのノズルの交換については、コーギーガーデン自治会のものは停止機能がなく、停止機能のついたものが必要ということで、4個購入した。会則集は、前回理事会で策定したまちづくり行動計画を印刷追加して配付した。具体的な金額は次回報告する。

③追分南町内会との協議について

9月9日に市役所で、まちづくり協働課をオブザーバーとして追分南町内会と協議した。追分南町内会からは町内会長、副会長2名、会計など5名が参加。志津南学区まち協からは、会長、副会長2名、計3名が参加した。

第1回の協議では、まず、まち協とは何かについて全体的な概要を説明し、その後、志津南学区まち協の組織と仕組みや会費などについて、会則に基づいて説明した。追分南町内会としても、来年4月から志津南学区まち協に加入するという意思を持って協議に臨むということであった。第2回は、10月14日に志津南市民センターで、当方が説明した志津南学区まち協の仕組みなどに関する追分南町内会の対応についての説明を受け、協議することとなる。

④上半期の報告書提出依頼

各種団体の活動で、上半期に完了したものについての報告書を早急に提出するよう、各グループの団体に依頼してほしい。

(2) 各町内会・各グループ・事務局から

① 青少年育成委員会

各町内会にあいさつ運動の看板がある。青少年育成委員会も点検しているが、壊れているものなどがあれば報告願いたい。

② 社会福祉協議会

地域支え合い送迎支援について、市社協から車両を借りて9月1日から活動を始めたが、実際に進めてみるとあまり細かいことを規定するのめどうかということも出てきているので、実施要領の見直しを検討している。11月には実態に合った改正案を提示する予定である。

ちなみに、9月の実績は4名の方を11回送迎している。新たな登録者が4名程度あり、徐々に登録者は増えるものと思う。理事の皆さんには、必要な方が遠慮なく利用されるよう、啓発に協力願いたい。また、社協としても志津南ニュースなどを通じた定期的な啓発も検討したい。

安心のバトンを導入したが、現在192軒で利用されることとなっている。対象約460軒のうち、192軒ということで、40%ちかい方が登録している。さらに広がることを期待する。

③ 若草五丁目町内会

防災活動の補助金で消火器を8台購入する予定である。

④ 環境美化委員会

10月、11月は一斉清掃や各町内会の自主清掃などがある。地域はきれいになったが、なお一層皆さんの協力をお願いしたい。

⑤ 交通防犯委員会

交通安全防犯絵画コンクールを夏休みに行い、28名の応募があった。そのうち12名を表彰し、あとの児童には参加賞を渡した。最優秀賞のポスターを各町内に貼ってあるので、確認してほしい。

2. その他

(1) 地域史誌の製作について

他の学区では、まちづくり協議会長・自治連会長などを中心に地域の人の力を結集してみんなで作ったところや、たまたまプロの人の提案・協力などがあり、それに乗った形で作成し、地域の方は余力を入れてはいなかったというところもあるという状況である。

志津南としては、志津南ニュース製作のソフトがあり、これを使うと手軽にできそうということで、地域の皆さんに呼びかけて、編集作業などの経験のある人や興味のある人を募集して製作し、最終的にはプロの方にチェックをしてもらおうとよりいいものができるかと考えている。これらについて次回提案し、理事会の了承を得て進めたい。写真・資料等の収集は、町内会長や地域の皆さんの協力が必要となることとなるのでよろしく願いたい。

(2) 追分南地区の町内会の区域と住居表示との関連がわかりにくい。

【回答】町内会のエリア図を作っているので、それで確認してもらいたい。

(3) ユージーガーデン自治会では、住民の台帳を作っているが、その更新はどのようにしているか。

【回答】若草地区においては、台帳は作っていない。住居の表示板を町内に設置しているのみである。町内会として個人情報把握する必要がどこまであるかは議論の余地がある。

以上